第８号　鹿沼市立東中学校だより　令和2年12月18日

<教育目標>　自律 自啓　自尊 他尊

東雲

http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/

【発行者】
栃木県鹿沼市立東中学校
住所 鹿沼市府中町393
電話 0289-62-7225
FAX　0289-62-7226
校長　斎 藤 美 智 雄

◆1月の主な行事◆

- 8日 始業式
- 12日 1,2年生　実力テスト
- 13日 新入生保護者説明会
- 15日～22日 3年生三者懇談
- 25日～　1,2年生三者懇談

新学習指導要領と求められる力

冬の到来を告げるかのように、正門付近の「山茶花」が咲き始めました。「山茶花」の花言葉は、「困難に打ち克つ」と言われています。寒い冬を乗り越えて咲く「山茶花」は、見る人に勇気と希望を与えてくれているようです。

また、全校企画２０２０では、「東中を鹿沼を元気づけたい」という生徒の熱い想いのもと、全校生徒による二四五五二羽の「折り鶴アート」を完成させました。生徒が主体的に取り組んでいる姿を見て、本校生徒の「強さ」「逞しさ」を感じるとともに、我々、教師にもたくさんの元気と勇気を与えてくれました。

御案内のとおり、令和三年度から「新学習指導要領」が全面実施となります。本校では、現在、令和三年度の教育課程の編成に向けて取り組んでいるところです。これからの未来は、コロナ禍のように、誰もが予測することができない課題に対して、絶対解はなく、納皆で話し合いながら、納得解を見つけていくことが重要です。また、多様な人たちと協働しながら、新しい価値を創造していくことが求められています。

そこで、東中生がこの変化の激しい社会を生き抜くために必要な力：生きる力（確かな学力、豊かな心　人間性、健やかな体　健康・体力）を身に付けさせるには、どのように指導、支援をしていけばよいか検討しているところです。また「社会に開かれた教育課程」の検討に当たり、保護者や地域の方々の願いや意見等を大切にしたいと思っています。保護者対象の「学校評価アンケート」を十二月に実施していますので、御協力いただければ幸いです。

「山茶花」のように、困難にも負けず、未来を力強く、たくましく生き抜く東中生の育成のために、職員が一丸となって取り組んで参ります。保護者、地域の皆様には、今後とも、本校の教育活動の充実に御理解、御協力をお願いいたします。

教務主任

↑登校時の肘タッチ運動

人権強調週間

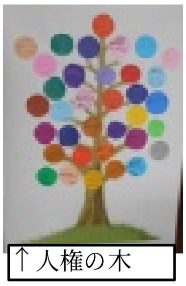
一九四八年に国連で「世界人権宣言」が採択され、一九五〇年の十二月十日が「世界人権デー」と定められました。これを受け、日本では十二月四日～十日を「人権週間」とし、人権について考える取組が実施されています。

本校でも十二月七日(月)から十一日(金)を人権強調週間とし、普段の生活を振り返り、思いやりをもって生活できるように、一年生対象に「人権講話」と全校生対象に「人権ふわふわ言葉運動」を実施しました。

「人権講話」では、ＬＧＢＴに視点をあてて性の多様性についてお話を頂きました。

「人権ふわふわ言葉運動」は、生徒一人一人が「言われて温かい気持ちになる言葉」を花に見立てた紙に書き、それを各クラスに掲示した「人権の木」に貼り付けるという活動です。約二週間、お互いの良いところを探し、周りの人を思いやる場面を意図的に設けたことは、心の成長にもつながり、この活動がきっかけで、さらに温かい雰囲気の学級や学校になっていくように取り組んで参ります。

人権教育担当



↑人権の木

薬物乱用防止教室

三年生を対象に、十一月十六日（月）、鹿沼警察署生活安全課の秋山様から「ドラッグ勧誘のテクニック」という視聴覚教材を活用しながら、薬物の恐ろしさについて学ぶことができました。

【生徒の感想】

講話を聞き、薬物は身近な人から誘われやすいということがわかりました。もし、勧められたときは、すぐにその場を立ち去ったり、近くの人に助けを求めたりしたいと思いました。一度使うだけで元の生活に戻れなくなってしまうので、「一度だけ」と言われても、しっかりと断れるようにしたいと思います。

また、二年生は十二月二十一日（月）「体に害を与える薬物の危険性について」一年生は一月十八日（月）「体に悪いたばこやアルコール」をテーマに、薬物乱用防止教室を実施する予定です。

養護教諭

※　事務室から・・・毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

今後の感染症予防対策

現在、栃木県の新型コロナウィルスの警戒度レベルは上から二番目の「感染厳重注意」です。これから冬季休業に入り、インフルエンザが流行する時期であり、人と集まる機会や移動を伴う機会が増えると思われます。コロナ禍において、健康で安全な生活を維持するために、以下のことをお願いします。

❶検温、消毒、マスクの着用、手洗い、換気等を継続して行う。

❷インフルエンザ対策と新型コロナウィルス感染防止対策を行う。

全国的に感染者数が増したのは「寒さ」と「慣れによる気の緩み」とも言われております。寒さが増し、手洗いや換気が敬遠されがちですが、一人一人がこれまで行ってきた感染症対策をしっかり実施することが一番であると考えます。

また、学校では、今後とも迅速かつ適切な感染予防に努めていきたいと思います。　保健主事

↑保健委員会が作成した掲示物

冬休みの生活について

生徒たちには新しい年を迎えるにあたり、学習・生活の目標や計画を立て、有意義な冬休みを送ってほしいと思います。そのため以下のことをご家庭で話し合って頂きたいと思います。

①年末年始の開放的な気分から生活が乱れがちです。規則正しい生活を心がけてください。

②交通事故や金銭トラブルが例年発生しています。十分気を付ける。

③SNSトラブル等の事故も多く発生しやすい時期です。携帯電話の利用の仕方について、ご家庭で確認する。

④三密を避け、こまめな手洗い、外出時はマスクを着用する。

生徒指導主事

冬休みの学習～3つの強みを生かして～

本校では、学びについて、次の三つの点を具体的に取り組んでいます。冬季休業中も継続して、この三つに取り組んでほしいと思います。

強み1　きめ細かなコンサルテーション

あゆみ診断テスト後、生徒にそれまでの学習を振り返らせ、新たな目標を立て、その達成に向けた学習方法等についてきめ細かな指導を行っています。

強み2　学びの宝箱

ホームページには、学校以外でも、一人でも、楽しく学べる様々なコンテンツ等を「学びの宝箱」として豊富に取り揃えています。教科書に沿った配列になっており、予習・復習、三年生の受験対策にも活用できます。

強み3　しののめパワーアップ問題集

全国学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査の過去五年分の問題を集めた「しののめパワーアップ問題集」を学習に取り入れ、今求められる力の育成を図っています。

学習指導主任

進路関係

冬休みは自分探しのチャンス

新しい年を迎える冬休みは、一年後の自分を思い描くチャンスです。ぜひ、この休みに利用し、お子様の長所や将来やってみたいことなどについて話し合う時間をとってみたらいかがでしょうか。将来の目標をもつことは、自分自身を大きく前進させることにつながります。まさに「一年の計は元旦にあり」を実現するチャンスです。

三年生においては、十一月末から私立高校の、ネット出願が行われ、一月初旬には入試本番を迎えます。県立高校特色選抜入試は二月八、九日に、一般入試は三月八、九日に行われます。いよいよ正念場ですが、健康に留意して自分の力を発揮してください。

二年生は中学校生活を半分以上終えました。中学三年生の三学期は中学二年生のゼロ学期とも言われます。この冬休みを上手に活用し、興味のある進路情報を得ておくと良いと思います。

一年生においては、あと数ヶ月で二年生です。今できることを精一杯頑張ることで、よりよい自分作りにつながります。世の中が大きく変化している今、中学生にとって、保護者の方々の温かい励ましや支えが大切です。人生の先輩としてのアドバイスをお願いします。

進路指導主事

お知らせ

例年一月に実施していた上都賀地区書き初め展は、今年度は審査のみとなり、市民文化センターでの展示は実施いたしません。